



さとうたかのぶ
佐藤太信 議員

読書バリアフリー

Q 日常生活用具給付条件の見直しを

A 耐用年数などの見直しを検討する



録画配信

議員 市民に配布する情報紙は誰もが公平に手に入る状況にならなければならぬ①視覚障害者への情報保障の実態は②情報保障について広報戸田市への掲載やホームページへの音訳CD一覧の掲載、窓口での周知を③日常生活用具給付の条件見直しを④読書環境の整備について、読書バリアフリー法に即した取り組みなど、当事者に利用状況などの確認を。

健康福祉部長 ①広報の音訳CDを希望者に配布するなど行っている②広報やホームページに情報を掲載し、相談支援事業者や障害福祉課の窓口で周知する③障害等級要件や耐用年数などの見直しを検討する。

教育部長 ④図書館サービスの向上を図るため、視覚障害者から意

議員のつばやき
誰一人取り残さない
取り組みを！

見を伺う。

新たな財源の創出を

議員 新たな行政サービスの提供、人口減少による税収減を見据えた財源の確保は必要と考える。今後の財源確保に向けた考えは。

企画財政部長 若手職員のアイデアや部局を超えた新規取り組みの提案の機会などを活用し、新たな財源確保に向けて取り組む。



中央図書館にある音訳CDと再生機

施設案内

Q 公共施設の案内図が分かりにくいのでは

A 誰にでも分かりやすい工夫を行う



録画配信

議員 市内公共施設への案内図は分かりにくいものが多い。曲がる目印や道の様子などポイントを絞り、目的地へたどり着ける案内図の作成が必要。その上で、QRコードを活用し地図アプリと連動してナビゲーションできるような手法を取り入れてはどうか。

市長公室長 誰にでも分かりやすい工夫は共通するポイントがあると思われる。そのポイントを庁内で共有することで、各施設で作成する案内図に反映させる。スマートフォンでも利用できるようQRコードの手法も有効である。

災害時の空飛ぶクルマの活用は

議員 国は「空飛ぶクルマ」の実現に向けたロードマップを取りまとめ、令和5年を目標に事業をス



世界中で研究が進められている「空飛ぶクルマ」

ターゲットさせた。各自治体も実証実験など、動き出している。さまざまな分野での利用が想定されているが、荒川氾濫など、災害発生時に有効ではと考える。利活用についてはどうか。

危機管理監 災害時の利活用方法として、物資輸送、医師・被災者の人員輸送などを空飛ぶクルマに転換できるのではと考える。国、他自治体の動向に注視していく。

議員のつばやき
空飛ぶクルマの実現は、
もう、そこまで



ほんだてつ
本田哲 議員

緑のボランティア

Q 竜作橋近くの花壇に水道の設置を

A 必要な器具の支給など公社と相談を



録画配信

議員 竜作橋近くの花壇でボランティア活動をしている方から「花壇近くに水道を設置してほしい」と要望が出ている。設置は可能か。

環境経済部長 水道設置には、工事費と水道使用料が発生し、すべて水と緑の公社の負担になるので十分な検討が必要である。水やりに使う運搬器具の支給など、有効策を公社と相談してほしい。

議員 ボランティアの方が公社まで行くのは大変である。公社職員が来てもらうなどの対応は可能か。



ボランティアが管理する竜作橋近くの花壇

議員のつばやき
花壇の近くから水やりができるといいな

市民協働

Q コロナ後の町会・自治会などに支援を

A 負担軽減策や加入促進などを実施する



録画配信

議員 町会・自治会活動の現状をどのように認識しているか。

市民生活部長 高齢化や担い手不足などの課題があることは認識している。今後さまざまな負担軽減策や加入促進策を町会連合会と共に実施していく。

議員 市民体育祭は町会・自治会などの負担になつていないか。

市民生活部長 今後の開催方法については検討が必要とされている。実行委員会と協議し参加しやすい市民体育祭になるよう進めていく。

議員 PTA活動の現状と今後の支援策をどのように考えているか。

教育部長 PTAの存在が、教育環境の充実に重要であるという認識の下、支援していくとともに、PTAの充実に寄与していきたい。

議員 子ども会の現状と今後の支



町会・自治会加入促進パンフレット

援策をどのように考えているか。

子ども健やか部長 コロナ禍のため多くの活動が中止となり、今後さらなる会員減少が危惧される。役員の方たちと協力し、力になれるよう努めていきたい。

議員 市内全域に地域担当職員の配置が必要ではないか。

市民生活部長 笹目地区で試行導入し取り組んできた。今後より良い制度となるよう進めていきたい。

議員のつばやき
今こそ行政は市民協働に
万全の支援を！